



### 商港利用のトツプ 太興丸けさ入港

#### 小名濱町歴史的賑ひ

工費百九十萬圓を投じた小名濱町商港は、この歴史的な商港で完成したが、今日同日商港を利用のトツプを切つて太興丸（船會社貨物船太興丸（三千噸））が同日に目下建設を急いでいる日曹航安工場の機械材料を満載して入港、新設の岸壁に横つけされた、この祝福すべき商港利用の第一船を迎へるため、島島知事は河合土木課長、木村技師、太田副等と共に小名濱に出張状況を視察した。太興丸は午前六時福來築港事務所長、小野町長以下名譽、町民多數の歡呼のうち、築港事務所のランチに誘等されて巨体を岸壁に横つけ、直ちに荷揚を開始した。

### 海軍、陸士 簡閱點呼

今年度簡閱召集事務檢閲並に陸士簡閱點呼は左の如く行なわれ、檢閲官は海軍大佐竹田平七、海軍主計兵曹長戸井田忠良兩氏。五月三十日四倉小學校（平小野新町管内）六月二日植田小學校（植田管内）

### 昨日の共販弱保合

#### 最高十二圓九十六錢

石城郡販聯昨日の俵米共販は出荷二七六俵で二十余名の競札の結果左記の相場で取引されたが中央市場の現況に比すれば約十錢の高値を示し、前回の共販に較べて弱保も合ひと云ふところ、石城は結局消費地の關係から一般相場では買付けぬと云ふ事實を物語られてゐる。

平倉庫一號一五俵（十二圓八十六錢）同二號九五俵（九

日刊新聞日曜日誌  
日刊新聞日曜日誌  
日刊新聞日曜日誌

### 常識講座

超人とは超越したる人間のことだ、超越した人とは云ふのは自己の個性を充分に發揮し努力を超越して些々たる俗習から擯んで自我を重んずる人のことである。

### 財政補給金分 割打合せ

縣では十三年度町村財政調整補給金交付を前にこれが分割基本調査打合せを左記に実施する。

▲四月十日小名濱町役場

### 平の櫻、満開は 十二、三日頃か

#### 氣象要素から算出した 小名濱測候所の豫想

櫻の満開日を豫想することが出来るとするは一般農家は植出の一日發表した、それによると三月中旬の平均温度は六度一四で是れを同所の算出式に當てはめて計算すると四月十五日となる。櫻の満開は十五日で開花は九日頃となり、平野附近はそれよりも一兩日早く八日頃に咲き出し、満開は十二三日頃となる豫想である。

### 戦地 五体になみざるの便 一意奉公の信念

#### 伊藤貞衛

明ければ二十八日上海市街は雨より明けて新戦場は生々しい、先づ我が皇軍機雷隊の腕の研ぎには驚きませぬ、諸外國の建物を支那の建物をハッキリ區別し、壁一重で支那建物を物だけが微塵に紛れられて跡もなくなつてゐるではありませぬ。

### 小學校教員大異動

#### 新任校 舊任校 氏名

新任校	舊任校	氏名
新校	田人	半澤武美
庭坂	飯野	橋谷田満子
五十澤	植田	阿部恒雄
水原	渡邊	遠藤武雄
石田	好間	近藤 篤
伏黒	神谷	高橋市作
小濱實踐	泉	清川キク
白方	好間尋高	鈴木スエ
稻田	大野	草野明位
保土原	大野第二	草野同子
下小屋	川部	和田朋友
岩瀬牧本	泉	下河邊仙二郎
鏡石	菊多	花房由真
門田	泉	二瓶 保
熱田	泉	渡部義衛
大壠	夏井	加藤友義
堂島	内郷第三	星 力
相川	江名	小林一夫

### 新卒業生任地

#### 同 田人

同	田人	佐藤トミ
新館	田人	鈴木 保
若松第五	上遠野	藤澤トシ子
金透	小名濱	小島盛男
平第一	遠藤 公一	
同	澤葉喜代子	
平第二	追分 薫平	
平第三	藤田 正己	
小名濱尋高	天野 幸夫	
赤井第二	安田 正吉	
豊間尋高	高橋 泰宗	
赤井第一	小澤 安治	
内郷第三	安部 憲一	
泉	渡邊 磐根	
小川	吉田 龜吉	
渡邊	植田 文夫	
内郷第二	反保 整一	
大野	鈴木 美夫	
入遠野	高田カツエ	
赤井第一	高橋 之子	
飯野	吉田 ナカ	
四倉	大塚 昭子	
高久	加藤 サタ	
錦	山口 定子	
湯本入山	筒井 久子	
好間尋高	橋本 キミ	
山田	鈴木 政子	
内郷第二	鈴木 滋	
小名濱	熊田美佳子	
渡邊	加藤キヤ子	
上遠野	古澤 定義	

### 國民精神總動員 簡保の報國運動

#### 本年度は更に擴大の方針

支那事變以來は又特別規則を設け出動軍人をして能く簡保の加入者たらしむることを目標として努力したる現在では、其の大部分は加入者として誤なき迄に至つてゐるが、其の内なるものとして例へば小學校に就て云ふならば、全國で三千八百余の小學校が簡保の積立金で出来上つて居り、二十三萬五千圓の自費が創設せられたら、其の耕地面積八萬七千町歩である、又健康相談所は全國主要都市に二百三十所設置され、地方に出張する巡回健康相談を通じて、最近一ケ年間の診察延人員は七百六十万人の多きを示して居る、之等を東北六縣だけに就てみるに小學校の建築六百四十七、自作農創設維持一萬四千八、八千余町歩である、又二十三ヶ所の健康相談所及巡回健康相談の利用延人員は百餘人と云つてゐる、以上その一部分の数字だけから見ても、簡保の報國運動は國民の幸福と中堅階級の興隆との爲に妙なる働きをして居ることが知られる、随つて各人が簡保の加入し郵便年金を利用することは國家經濟力の本源であり、國防の根幹である所の國民各自の生活の安定發展を計るばかりではなく國家社會の興隆に偉大な貢獻を爲すこととなるのである。

今晩は北の風、晴  
明日は北の風、晴後薄曇

### 公園臨時賣店

平野では例年通り花期中公園に臨時賣店を許可すべしと定数九に對し二日までの申込者は十三名、五日午後一時から土木委員會を開き抽籤を行ふ筈だが希望者はまだ出で居る見込み

### 中等教員異動

縣師範學校教諭 尾崎 信興  
磐城高等女學校教諭 橋本芳太郎  
磐城中學校教諭 橋本芳太郎  
縣師範學校教諭 仲原 信行  
任師範學校教諭 佐々木 眞  
任磐城高等女學校教諭 山田 知子  
任平商業學校教諭 廣田 磯吉

# 農業

## 泥負虫駆除に 新調合劑

効果百パーセント  
価格は最も低廉

稲作の大敵泥負虫が宮城縣登米郡地方に数年続いで発生し、昨年は最も甚だしかつたが、此の驅除について登米郡佐沼町農會加川技手が試験の結果、次の如く從來果樹のアブラ虫寄虫驅除に用ひられてゐた大下殺虫劑に粉石鹼を加へたものが最も効果が多かつた廉價なことが判明、これを聞き傳へた宮城縣農務課砂金技師は同藥劑の成分その他について分拆試験したが、殊では今年から泥負虫驅除はこれを奨励するものと見られる。

- ▲大下殺虫劑十匁粉、石鹼二匁、水二斗に溶解、効果一〇、價格三二錢
- ▲硫酸ニコチン六百倍液水三斗に溶解、効果七、價格一四五十五錢
- ▲デリス石鹼五百倍液、水五斗溶解、効果六、價格一四三十錢(以上は反當量)

なほ石油撒布並びに網使用は稲を傷つけ殆んど効果が見られなかつた、右について加川技手の語るところは次の如くである。

自分でも驚いたぐらゐ大下殺虫劑使用が効果があつたが、これは硫酸ニコチンやデリス石鹼は連年用ひられてゐるところから此の邊の泥負虫はこれに對して幾分抵抗力を持つに至つたものが變つた藥劑を使はれて參つたのではないかと思はれる、兎に角効果のあること



は確かなので續けて試験する考へです。

### 大河内

平市搔搔小路

## 整形科醫院

電話五八八番

### 幸福の父

健康の母たらんには  
召し給へ！  
機那甘フラン酒は  
子寶を得て易し。

能効  
血の  
調子  
を  
整へ  
て  
子  
寶  
を  
得  
て  
易  
し

定價 二匁 二匁

房藥郎太仁澤吉

平市五丁目角

山野邊藥局

### デーリーサービス

特にマルモの  
ランチは...

品名	品目	品目
カツレツ	チキン	カツレツ
チャーハン	カツ	チャーハン
エビフライ	ハヤシ	エビフライ
水	ライス	水
木	ライス	木
金	ライス	金
土	ライス	土
日	ライス	日

RESTAURANT MARUTOMO  
堂食モトルマ

### 生徒募集 (學則)

一、學費の經濟を主眼とし  
二、實際生活に即した指導  
三、女性の使命感に生きる信念  
の教育

警城家政學園  
平市八幡小路(縣社八幡前)

### 和洋銅鐵、金物問屋

店南屋釜  
九九・九電

### 日下家政婦會

便利で  
經濟な  
身元確かで品行方正ですから  
何をお任せしてもご安心です

日下すい子  
會長  
電話七二三番

### 多田井質店

債券 公債 兩替 金融

平市大工町  
電話五九二番

### 成田山 (開基一千年祭)

大護摩修業團體募集

一、日時、四月三日(日曜日)午前七時四十八分發  
四月四日午前十時(成田町解散)  
二、會費金八圓五十錢也  
三、片道汽車賃、車中辨當及茶菓子代、成田宿泊料及茶代諸祝儀、大護摩修行諸費、箱札料、坊入料及席上諸祝儀  
宗吾靈堂大護摩修行諸費  
但、成田、宗吾間乘車賃八圓自辯ノコト、其ノ他解散迄ノ諸費一切ヲ含ム、

一、申込期限、三月三十日 迄會費御持參ノ上御申  
昭和十三年三月吉日  
平市大新榮講  
講元 井上貞治郎  
五丁目(電話六六番)

### レストラン サロシ

飲食 喫茶  
酒場を兼ねた。

町田平  
二五三電

### 産婆看護婦生徒募集

回 願書締切 四月六日  
回 修學年限 兩科を通じて一ヶ年

平市一丁目  
新築校舎、平市搔搔小路  
石城 産科婦人學校  
校長 鷹崎千代

### 印刷見習工募集

委細面談